

令和 5 年度 学校経営環境分析書

豊浜中学校区 校番 24 学校名 呉市立豊浜中学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>【地域・保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に対して協力的な支援体制がある。 ・静かで美しい自然環境があり、落ち着いて学校生活を送ることができる。 ・地域の歴史的な文化遺産、特産物等、学習教材に活用できる資産に恵まれている。 <p>【呉市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季は帰宅時間が遅くなるのでバス通学に補助が出るなど生徒の安全面への援助がある。 ・タブレット端末の生徒、教職員への配布がある。 	<p>S (強み)</p> <p>【学校組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人一人が力を発揮し、協力して取り組む体制ができています。 ・少人数のメリットを生かし、個に応じた丁寧な指導を行いやすい。 <p>【生徒実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は素直で真面目な生徒が多く、部活動や生徒会活動にもしっかり取り組んでいる。 ・掃除や諸行事の準備・片付けなど少人数で協力してできる。 ・基本的な生活習慣(3点固定)が身に付いている生徒が多い。 	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <p>(1) 個に応じた丁寧な指導と生徒が主体的に学び合う授業づくりや教育活動を行い、学力を伸ばす。</p> <p>(2) 保護者との連携をしっかりと行い、家庭学習を充実させ学習内容の定着を図る。</p> <p>(3) 総合的な学習の時間(ふるさと学習、キャリア教育等)を通して、地域人材の活用を進めるとともに、地域への発信や地域貢献に取り組む。</p>
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>【地域・保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊町、豊浜町共に少子高齢化が進んでいる。 ・59.4% (19 名) の生徒がバス通学のため、学校での活動時間に制限がある。 ・校区が広く、小学校との距離がある。 ・近隣に高校がなく、進路や高校に関する情報が得にくい。 ・島外での活動について、交通費、時間の制約がある。 	<p>W (弱み)</p> <p>【学校組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員数が少ないため、一人にかかる分掌量が多い。 ・個々の教員の力量に頼りがちで、組織的に取り組めない面がある。 ・ICT活用スキルにばらつきがある。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数のため人間関係が固定化している。 ・個々の生徒が抱える役割が多く取組が中途半端になりやすい。 ・自己肯定感が低い生徒がいる。 ・複雑な家庭環境や発達障害をかかえる等、本人の責任によらない課題をもつ生徒が比較的多い。 		<p>(1) 小中合同行事等でリーダーとして活躍する機会を多くし、肯定的な評価をすることで自己肯定感を高める。</p> <p>(2) 教育相談(進路指導をふくむ)を充実させ、生徒理解を進めていくとともに、進路に対する展望をもたせる。</p> <p>(3) 特別支援教育の視点を生かした授業づくりに取り組み、教職員による生徒の実態に係る交流を充実させるなど組織的な支援体制を充実させる。</p> <p>(4) 児童養護施設等関係機関との連携を密にする。</p>

2 重点課題

- ①少人数の利点を生かしながら、全ての子どもが「分かる・できる」と感じられる工夫のある授業づくりを推進する。“「子どもの『問い』を生かす」, 「聴く・関わる・振り返る」, 「『思考を促す発問』を取り入れる」”を授業改善の視点とし、主体的な学びのある授業を目指した授業改善を行う。
- ②「ふるさと学習」, 「キャリア教育」に係る取組を総合的な学習として教育課程に位置づけ、地域・保護者との協働による学習活動を仕組み、地域への発信や地域貢献に取り組ませる。
- ③特別支援教育の視点を生かす授業づくりと組織的な支援体制の構築を行う。
- ④週末課題, 自主学習ノートの取組を推進し、家庭学習を充実させ、学力の定着と学習意欲の向上を図る。
- ⑤教育相談(進路相談)を充実させ、生徒理解に取り組む。
- ⑥保護者・地域・関係機関との連携を密にすることで信頼関係を築くとともに、生徒の変化に対し早期発見, 対応に取り組む。